歌は世につれ世は歌につれ
80 歳代になっても続ける趣味 ～カラオケ～

現在は、静かにクラシック音楽を聞く喫茶店は少なくなり、カラオケ店が増えている。 高齢者にも若い世代にも人気の趣味がカラオケだ。カラオケにはストレス発散や楽しさだけでなく、脳を刺激したり血圧を安定させたりする身体への効果もある。また、歌詞を覚えたり、メロディ、リズムや音程を合わせたりして唄うことは、脳をフルに活用する。ほかの人の歌を聞いて感動したり、過去を懐かしんだりすることも脳を活性化させる大きな要素になる。

若いころから好きだった歌手島倉千代子は1999年61歳のときには歌手生活45周年で、紫綬褒章を受けている。島倉千代子は演歌歌手のような歌い回し「小節し」をほとんど使わない。クリスタルのような透き通った高音と、鈴を鳴らすような美声で、17 歳でデビュー曲の『この世の花』がヒットするころから聞いている。

私が覚えた最近の一曲『風のみち』(作詞：杉紀彦、作曲：浜圭介)を紹介する。

この曲は、島倉千代子が歌手生活 50 周年の記念曲として 66 歳のときに歌っている。

「落ち葉のいたみ知りすぎたけど
風に吹かれて　帰りたい
いろんな事が　ありすぎたから
風と一緒に　帰りたい
愛して泣いた　あの秋へ
きれいな別れ　確かめに
あぁ　人の世は　風のみち
行きつく先は　遠くても」

最近、私はこの曲をパソコンの YouTube で検索して初めて聞いた。Bluetooth のデジタル信号で聞く音は雑音が無くすばらしい。ワイヤレスでパソコンやスマホとつないでいるから、居場所を移動しても布団の中でも寝ころがりながらでも聞いていられる。

名曲『風のみち』には、つらいことを歌っているのに、どこか心がやすまる救いがある。ガンの手術そして闘病を繰り返しながら、懸命に明るく歌い続けた島倉千代子の歌には心打たれるものがある。お浄土へ西に向かって行くような趣がある。

カラオケで皆と歌うときに、歌詞と楽譜はダウンロード・サイトから曲名・歌手・楽器名などで検索して、パソコンでプリントしておくとよい。

@ELISE(https://www.at-elise.com/)より、一曲 300 円ぐらいでダウンロードできる。

今私は、島倉千代子が 2013 年 75 歳で亡くなる 2 年前に歌った『私の小さな幸せの花』を、カラオケで歌えるように覚えている。母を思う美しくていい歌だ。